

第25期 事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

法人の名称 特定非営利活動法人コロンブスアカデミー

1 事業の成果

「つなぐ、つなげる、つながる」、「人と場所につながってさえいればなんとかなる！」キーワードとして、すべての事業の活動に取り組んだ1年だった。つながることの大切さを伝え、支援者、支援機関、団体、行政との「地域支援」にも力を入れた。コロナ禍によるさまざまな行動制限が緩和され、イベントの再開や対面でのコミュニケーションが増えた一方、行動制限のあった3年間は、子ども・若者たちに及ぼした影響は大きく、課題が表面化してきた1年でもあった。私たちは、どんな状況であっても「おもしろいことファースト」で、特に学齢期の子どもたちは、面白い、楽しいことを通して人と関わり、自己肯定感を持ち、チャレンジすることの楽しさを体験してもらえようリアルに関わりがもてるイベントをより増やし、直接参加してもらえよう取り組んだ。コロナ禍以降、不登校の問題が低年齢化し、10代の保護者からの相談が増えたこともあり、新たに「新時代の不登校支援フリースペース【Kauri】かうり」を開所し、学校、医療関係者、支援機関との連携にもさらに力を入れた。また、金沢区寄り添い型学習支援事業いろは塾から、引き続き支援が必要な生徒たちは、金沢区青少年の地域活動拠点カナカツやよこはま南部ユースプラザにつながり、継続利用している。また、いつでも困った時に相談できる場所があることを伝え、どこかにつながっていること、孤立しないために相談する力をつけることが大事なことを全ての事業所で関わる本人、保護者に伝えてきた。子ども食堂は、子どもたちが地域でつながることのできる居場所として継続運営。今年度も引き続き、子育て期～学齢期～思春期～青年期までの途切れのない継続的な支援を目指して、一つ一つの事業に取り組んだ。

2 事業内容

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 子ども・若者とその保護者などに対する相談・支援

① 不登校支援

- ・日常的に不登校の電話相談やメール相談の対応を行い、寄せられた相談について法人内のプログラムや他の支援機関の紹介や丁寧なつなぎや対応を行った。
- ・6月、9月、12月、3月には、無料の集中相談会を開催し、セミナーや個別相談をおこなった。
- ・横浜市教育委員会、南部学校教育事務所、地域の小学校・中学校・高校との連携を深め、義務教育の間に支援につなげることを意識して取り組んだ。
- ・神奈川県教育委員会主催の不登校相談会に参加し、団体紹介と個別相談の対応をおこない、後日、来所にもつながった。

日時	月～金 9:00～18:00
場所	横浜市磯子区東町9-9 3階
主な従事者人員	2名
対象者	青少年および保護者、関係者

② 新時代の不登校支援フリースペース【Kauri】かうり

- ・フリースペースを開所し、不登校の小・中・高校生世代が安心して過ごせる居場所を運営。
- ・保護者からの相談や、学校・関係機関と連携しながら、ひとりひとりの必要に応じたサポートをチームで行った。

日時 火・水・金 10:00～15:00
場所 横浜市磯子区東町9-9 3階
主な従業者人員 2名
対象者 小・中・高校生世代

③よこはま南部ユースプラザ（なんぷら）

- ・相談窓口（電話、インターネット、来所）を開設し、困難を抱える若者やその保護者の第一的な総合相談を受ける相談室の運営を実施。若者や家族、関係機関からさまざまな相談が寄せられるため、K2グループの中核の相談窓口として重要な役割を果たしていた。
- ・ひきこもり状態からの回復期にある若者の居場所の運営。
- ・活動の年間テーマを「地域支援」～つなぐ、つなげる、つながる～とした。支援者対象のなんぷら主催の南部地域若者支援連絡会（3回開催）では、毎回40名前後の関係機関の方が参加。行政・学校関係・関係機関・NPO団体などが一同に集まり、顔の見える連携を図ることができた。また南部地域の各区で年に1回行うセミナーにおいても同テーマで、家族が孤立せず、必要な支援機関と連携して本人の支援をしていくことの大切さを伝えた。
- ・南部地域の区役所専門相談で区のこども家庭支援課、生活支援課との連携を行った。例年戸塚区での相談は窓口である生活支援課からの相談が多く、当事者をつなげる前にまず担当職員が相談するという形が定着してきた。今年度は戸塚区だけでなく、金沢区や港南区でも区職員からの相談が多くあり、徐々に区との関係づくりができてきた。今後も区役所との連携を図っていきたい。
- ・例年通り居場所は月曜～金曜 11時～19時まで開所。162名の登録があった。新規が81名、再登録81名と新しいメンバーと前年度からいるメンバーが半々だった。男女比は男性59%、女性41%、年代は15～18歳が32%と最も多く全体で見ても22歳以下が58%と半数を占めていた。

講座・クラブ活動：ボイストレーニング・PCセミナー・スポーツデー・スタートアッププログラム・無電源系ゲーム・なんぷらアフタヌーンティー・ちがいを楽しむかんたんアート・健康管理について・自分取り扱い講座・UVレジン・横浜美術館プログラム・wii大会・大人の塗り絵・羊毛フェルト・映画観賞会・福祉サービススタディツアー・折り紙講座・クラフト講座・ちょこボラ・サポステってどんどこ？・クレイフラワー講座・ミラクルイングリッシュ・カードゲームクラブ・ボッチャ大会・なんぷら情報局発信DAY・インターネット被害未然防止講座

- ・ボランティア体験・社会体験・就労体験のプログラムの実施。
- ・横浜市南部地域5区の関係機関、区役所との連携及びネットワークづくり
年間テーマ「地域支援」～つなぐ、つなげる、つながる～

＊南部地域若者支援連絡会（年3回）：

2023年6月22日（木）35団体48名

2023年9月28日（木）23団体39名

2024年3月7日（木）24団体40名

＊地域ユースプラザ施設長会議：年4回参加

＊三機関連絡会：年2回参加

＊なんぷら保護者交流会：毎月第4土曜日開催 年間参加者延べ95名

- ・区役所における引きこもり等の専門相談、セミナー&相談会

＊専門相談 港南区12件、磯子区6件、金沢区21件、戸塚区28件、栄区9件 計76件

＊区役所セミナー&相談会：

11月30日（木） 港南区 来場者 13名 個別相談4件

10月4日（水） 戸塚区 来場者 7名 個別相談3件

11月9日（木） 金沢区 来場者 10名 個別相談4件
 11月15日（水） 磯子区 来場者 10名 個別相談1件
 10月19日（木） 栄区 来場者 7名 個別相談0件
 来場者合計47名、個別相談合計12件

開所時間 月曜日～金曜日 11:00～19:00（居場所・相談室）
 土曜日 11:00～19:00（相談室のみ）
 場 所 横浜市磯子区磯子3-4-23 浜田ビル2階
 主な従事者人員 9名
 対象者 横浜市内にお住まいのおおむね15歳～40歳未満の若者およびその家族
 開所日数 281日
 来所者数 のべ4,271名
 居場所利用人数のべ2,466名
 講座参加人数のべ3,141名
 相談実績 面接相談のべ790件・電話相談のべ776件・
 インターネット相談のべ115件
 社会／就労体験事業参加者のべ2,066名

（2）経済的困窮を含めた家庭環境などに課題があり、社会的に困難な状況に置かれた こども・若者の支援

①子ども食堂「250にこまる＋プラス」

- ・コロナ禍の影響による見えない貧困や環境の変化などに「子ども食堂」という切り口で、**3つの「孤」（孤食、孤独、孤立）の解消を目指し、毎週金曜日に会食、お弁当配布・配達、フードパントリーと形で実施した。**
- ・最初に登録をしてもらい、専門の相談スタッフが話を聞くことで、一人一人の状況をしっかりと理解をして、保護者や学校との連携も取れる形で受け入れをおこなった。近隣の小学校、中学校とも連携し、関係機関とのケースカンファレンスにも参加した。
- ・出張子ども食堂で磯子、岡村に赴いて、現地で子ども食堂を開催した。お弁当の配布やフードパントリーに加えて、子ども食堂のサポーターズミーティングを実施。
- ・岡村のにこまるソーシャルファームでの野菜の収穫などの農業体験をおこない、食育の場にもなった。また、ファームから地元の野菜を仕入れて、子ども食堂の食材としても活用した。
- ・一時的な支援ではなく、K2グループ全体の資源や地域の支援機関につないでいくこと、彼らが**支援する側から支援される側**になる機会にもつなげることを意識して取り組んだ。
- ・活動を応援してくださる方からの寄付金に支えられ、またフードバンクなどから食材の寄付をいただき、子ども達に還元することができた。
- ・磯子区ふれあい助成金、善意銀行、ドコモ助成金、中央共同募金会助成、一般財団法人若者自立就労支援協会助成金を受け、活動を継続・充実させることができた。

日時 毎週金曜日 17:00～19:00（相談 15:00～）全48回
 場所 にこまる食堂（横浜市磯子区東町9番9号）
 主な従事者人員 2名
 対象者 小学生・中学生・高校生世代

（3）こども・若者の自立に関する情報提供

①団体の活動の情報発信

- ・団体の活動を内容を広く知ってもらうため、ホームページやブログの定期的な更新作業を行い、より新しい情報の掲載に努めた。

日時	ホームページの更新は随時
場所	コロンブスアカデミー事務局
主な従事者人員	2名
対象者	不登校、ひきこもり状態にある青少年とその家族、 地域の関係機関・関係団体など

(4) 地域で子育てを支える場の提供・運営

① 親と子のつどいの広場事業 子育てスポットくすくす

- ・横浜市補助事業として、乳幼児親子が気軽に集える居場所を提供。
- ・親の日常的な悩みや不安を和らげる場、共に育ち合える場、誰かとつながれる場として運営をおこなった。
- ・コロナ禍後も環境整備を行いつつ、いつでも来やすい広場作りを心掛けた。
- ・親のリフレッシュや用事、きょうだい児の行事、仕事の際に利用できる一時預かりを引き続き実施。次年度から仕事復帰・保育園を希望される方中心に、リピーターが多かった。必要な方が安心して預けられる場所の提供は継続してできている。また、子どもを預かるだけでなく、子どもの成長や家庭内の悩みについて相談できる場にもなっていた。
- ・参加する親子が参加者としてだけでなく、当事者として運営を支える、ママサポーター、ママボランティア講師として活躍していた。
- ・活動の様子や今後の予定をホームページ・ブログ・SNS から情報発信を行った。引き続き Instagram で情報を得ている方が多かった。
- ・幼稚園・保育園座談会を年3回行い、情報収集ができる場の提供をおこなった。磯子区の保育・教育コンシェルジュの方にも来ていただいた。先輩ママによる幼稚園座談会も開催し、経験談を聞く機会も作った。
- ・今年度から、土曜日でも年19回午前中に開所した。3回の父親育児支援講座や親子で参加できるプログラムを行い、家族で参加される方がいたり、平日は保育園に行っているメンバーの利用にもつながった。15周年イベントとして、地域で活動をされているパネルシアターサークルの方にも来ていただいた。
- ・同じフロアのぽによ+の小学生が乳幼児の面倒を見たり、夏には広場でのイベント「お話し」でペープサートや絵本の読み聞かせ、春にはプラレールを組み立てて一緒に遊んでくれ、遊びに来ていた親子との交流も持てた。小学生の姿を見て、乳幼児をもつ保護者が子どもの成長を思い描くことができていた。ぽによ+との交流が、親子にとって発見や学びの場になっていた。
- ・近隣の中学校からの職業体験も1名受け入れた。0歳の子を抱っこしたりと、いろいろな体験ができた喜んでた。ママたちも温かく受け入れてくれた。
- ・磯子区内では、子育て支援拠点と各広場との「いそごひろば連絡会」を年4回開催。プラスの研修会として南部療育センター見学にも参加し、利用について詳しく知ることができた。つどいの広場のブロック会議でも、1回は研修会で子育て支援者の講演があり、日頃の親子対応や運営に活かすことができた。
- ・地区別の子育て支援連絡会では、近隣の保育園、保育園と連携して「園庭で遊ぼう」というイベントを初めて開催した。4園で開催があり、地域の支援団体として参加して親子と関わりひろばの紹介を行った。
- ・要保護児童対策地域協議会（地区別関係機関会議）に今年度も参加。年2回の開催で、関係機関とロールプレイや地域での連携の大切さ、必要な場所へつなげていくことが大切なことも学ぶことができた。
- ・地域で気になる親子については、磯子区の保健師だけでなく、中区の保健師とも情報共有など連携を行った。親子が遊びに行ける場所として区からも情報提供をしていただい

た。

日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所 横浜市磯子区東町9-9
主な従事者人数 5名
開所日数 220日
来所者数 1,546組3,348名(一日平均7.0組15.2名)
一時預かり利用数 160件 計569時間(月平均13.3件47.4時間)

連絡会 いそごひろば連絡会 全4回 2023年5月24日(水)・9月6日(水)
2023年12月6日(水)・2024年3月6日(水)

磯子区子育て支援連絡会 2024年3月11日(月)

根岸・滝頭・岡村地区子育て支援連絡会 2023年8月24日(木)

Cブロック会議 全3回 2023年6月8日(木)・11月17日(金)※研修会
2024年2月16日(金)

広場全体連絡会 全2回 2023年7月11日(火)
2024年3月6日(水)

一時預かり情報交換会 2023年12月11日(月)

要保護児童対策地域協議会(地区別関係機関会議) 2023年12月1日(金)

②プレ教室ぽっかぽか

- ・就園前の2～3歳児のこども対象のプログラムを実施。
スムーズに幼稚園や保育園に移行できることを目的に、「こどもだけで活動する経験」や「家庭ではできない体験」を意識して、プログラムを構成し、事業を進めていった。
- ・にこまるソーシャルファームで、6月、11月にじゃがいも堀り体験も行った。11月は、ぽにょ+の親子や若者支援の家族の会メンバーとの交流もできた。
- ・保護者同士がプログラム終了後も助け合える関係作りを目指して、2回の保護者座談会、自宅から参加のzoomでのオンライン交流会・座談会も2回実施し、交流の場を作った。
保護者同士のつながりを強め、子育ての不安に寄り添い、トイレトレーニングや友達との関係など、具体的な悩みについて話し合う場にもなっていた。また、ぽっかぽかでの普段の活動の様子も動画や写真で伝え、子どもたち同士の関わりや成長を見てもらうことができた。
法人の活動(乳幼児～青年期の途切れない支援)についても話して、子どもに必要な環境を作ってあげること、保護者が一人で抱え込まないことの重要性、保護者がつながることによって子どもを孤立させないことも伝えた。
- ・発達の気になる子には、子どものサポートだけではなく、様子を毎回伝えたり、母親の不安を聞くなど保護者のサポートを丁寧に行った。先輩ママにつないだり、関係機関との情報共有も行った。
- ・保護者からは、幼稚園就園に向けて情報を得られたこと、親から離れて同年齢の子ども達同士で楽しむ経験ができたこと、ぽっかぽかを楽しみにするようになり成長を感じられたことなど、参加してよかったという感想が多く、何よりぽっかぽかが保護者にとっても居場所になっていた、毎回大人と話ができることを楽しみにしていたという声をどの保護者からも聞かれた。今年度も以前、上の子がぽっかぽかに参加した家庭の下の子ょうだい児が3名参加した。

開催日時 木曜日 10:00～11:30 全30回
主な従事者人数 3名
登録人数 10名
参加人数(実績) のべ267名

(5) 地域の子どもの居場所の提供・運営

①金沢区青少年地域活動拠点 カナカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場や様々な体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。現在の場所に移転してから2年目となり、新たな地域や商店街・関係団体との連携も増えてきた1年だった。
- ・1階フリースペース部分では駄菓子販売を行い、子ども達が居心地良く過ごせる場を提供した。ものづくり講座・カナカツイベントへの参加の促しも行い、体験の場の入り口としても機能した。また、週1回2階をキャンパスカフェ（自習室）として開放し、中高生世代が落ち着いた静かな環境で学習したり、ゆったり過したり出来るスペースとしての環境も整えた。
- ・フリースペースに来所する子ども達も一緒にイベントの準備をし、当日の運営も行った。すずらん通り商店街や地域の関係団体と共に地域の子どもの達を見守る体制を整えることができた。
- ・**保護者対象の思春期セミナー**（参加者20名）を3年ぶりに会場での対面形式で開催。講師は、当時の理事長である渡辺克美が務め、「思春期のこころの変化」をテーマに行った。
- ・社会参加プログラム「中高生ボランティア体験（中高生のべ165名）」「第7回カナカツ美術展（参加者175名）」では近隣の中高生が多く参加してくれた。ボランティア体験では、毎月ボランティアDAYを設け、地域清掃や花壇の水やりボランティア、近隣の施設へ中高生手作りの作品をお届けした。また、金沢区民まつり「いきいきフェスタ」に参加し、出張カナカツ縁日の運営を中高生ボランティア中心に運営・出店できた。美術展では、高校生による運営会議・ワークショップを開催。また、カナカツイソカツ合同企画の職業人セミナーも開催することが出来、横浜美術館の学芸員に講師を務めていただいた。前日の会場設営には、運営委員の高校生が中心となって集まり準備を進めることが出来た。今年度も、共同制作や美術作品の出店等、金沢区内の中学校・高校・金沢国際交流ラウンジ等とも、継続して連携した。
- ・イベントでは金沢区地域振興課主催の図書フェスティバルにおいて、中高生世代が企画した展示会をカナカツ内で行った。展示した本の人気投票を行う等も工夫をしながら行った。
- ・上半期は、コロナ禍の影響による行動制限が緩和されたため、小学生から高校生まで広い世代がより安心して利用できるよう、工夫しながら、スポーツデイ・自習室・ものづくりワークショップ等も開催した。下半期は、より直接のコミュニケーションを大切にしながら、さまざまなイベントも再開した。
- ・近隣の学校や他団体との連携を積極的に図り、小中校長会・民児協での企画案内・南部地域若者支援連絡会への出席も行った。年度を追うごとに学校関係等地域資源からの連携の体制が得られるようになっている。

日時	火曜日・木曜日	15:00~20:00
	土曜日	13:00~18:00
場所	横浜市金沢区谷津町359（すずらん通り商店街内）	
主な従事者人員	3名	
対象者	地域の中高生世代	
開所日数	150日	
利用人数	3,902名（青少年3,257名・大人645名）	

②磯子区青少年地域活動拠点 イソカツ

- ・横浜市の補助事業として、地域の中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集う場やさまざまな体験交流の場を提供する事を目的とし、地域に根付いた活動拠点を運営。
- ・フリースペースでは居心地のよい空間でそれぞれの過ごし方をする姿が見られた。また、地域の方をボランティア、講師に招き、フリースペースでものづくり講座などのコーナーを設け、子どもたちと交流しながらイベントを開催した。
- ・イソカツ運営委員会（中高生世代メンバー主体の会）では、縁日開催に向けて準備・運営や1月に開催した**第7回イソカツ美術展**の準備を行った。（48名参加）
- ・毎年、開催しているイソカツ美術展は、昨年度に続き根岸駅前モンビル6階にて開催。中高生世代の作品が143点集まり、美術展最終日には、ワークショップも開催できた。（263名来場）
- ・岡村のにこまるソーシャルファームでの農業体験を実施。6月はじゃがいも掘り、10月はさつまいも掘りを体験した。土に触れる体験はそれぞれに思い出深い体験となったようだ。
- ・磯子まつり（区民まつり）やいそごこどもまつりでは、中高生世代が中心となり縁日の出店を行った。準備から当日の運営・片づけまで、みんなで協力しながら進めることが出来、充実した活動になっていた。
- ・夏休みや春休み期間中を活用し、中高生のボランティア体験（のべ88名参加）を実施した。子育てスポットくすくす、放課後ドラマぽによ+での体験では、小さな子達やスタッフとの交流の中で、保育やイベント補助などを体験することができた。また、直接、今年度も継続して、イソカツで作ったものを届けるボランティアを実施した。子育て広場の装飾づくりやケアプラザから高齢者宅に配達されるお弁当につけるメッセージカードや折り紙を作り、受け取った先の施設からはとても喜ばれていた。
- ・多世代交流イベントでは、新たに多文化共生ラウンジ、2回目となる洋光台のCCラボ、磯子区社会教育コーナー、根岸アートルミエールと連携し、中高生世代が中心となって企画・運営するものづくりイベントを行った。
- ・思春期世代の子どもを持つ保護者や地域の支援者を対象に**イソカツ思春期セミナーを4年ぶりにリアルで開催**した。講師にヘルスプロモーション推進センター（オフィス岩室）代表の岩室紳也氏をお招きし、「思春期のこころと性～ストレスに向き合う力の育ちを共に考える～」をテーマにお話していただき、自分自身の子育てを振り返る機会となったとまたこのようなセミナーを開催してほしいという感想が多く寄せられた。（33名参加）
- ・近隣の中学校や高等学校に訪問し、校長会や専任会、青少年指導員、民児協ではイベントの周知や報告を定期的に行うことができた。また、地域の関係団体との連携を積極的に図り、磯子区館長連絡会、南部地域若者支援連絡会等にも参加。

日時 水曜日・金曜日 15:00～20:00
土曜日 13:00～18:00
場所 横浜市磯子区磯子3丁目4番地23号 浜田ビル2階
主な従事者人員 3名
対象者 地域の中高生世代、地域の人たち
開所日数 146日（フリースペース開所・活動日）
参加者 青少年計 4,092人（全体 4,624人）

（6）放課後児童健全育成のための学童保育の運営

①放課後ドラマぽによ+

- ・自主事業として「おもしろい子（個）を育てる」をテーマに、安全確保を目的とした子どもの預かり所ではなく、子ども達が多様な経験、多様な関わりの中で生き抜くための心の免疫力を育むことができるような場を目指して、運営をおこなった。
- ・定期利用の他、一時保育や日曜・祝日・宿泊対応、年中児・年長児の預かり等、多様なニーズに応えることで、保護者も子どもも安心して利用できる環境づくりに

努めた。

- ・手作りの昼食・夕食・おやつを提供。毎日の食事を通して、準備や片付けの役割や仲間と食卓を囲むことの大切さを伝えている。
- ・今年度は4年ぶりに「ぽによ大冒険夏休みNZ ツアー」を実施し、ニュージーランドにOBも含めた11名の児童を連れていった。約2週間、現地学校の留学体験など、他では出来ない体験を提供することが出来た。
- ・ぽによ塾ピアノ、英会話、卓球クラブ、プログラミング教室の実施日時や曜日を調整し、保育業務への負担を減らすことが出来た。
- ・保護者面談や説明会、交流会などで保護者の方たちとのコミュニケーションの機会を大事にし、信頼関係の構築に努めた。何か相談があった際は迅速に対応し、困りごとなどを相談しやすい関係づくりを心がけた。

日時	終日（必要に応じて対応）
場所	横浜市磯子区東町9-9 2階、他
主な従事者人員	6名
対象者	横浜市内の年中児～小学生
開所日数	291日
登録人数	86名
登所人数	のべ8341名
ぽによ塾	ピアノ 登録7名・のべ231名（33回実施） 英会話 登録7名・のべ231名（33回実施） 卓球 登録11名・のべ405名（78回実施） ロボット・プログラミング登録16名 のべ458名（98回実施） 登録児童の所属学校 根岸小 64名・間門小 7名・杉田小 2名・浜小 3名 ・国大附属小 3名・滝頭小 4名・ 山王台小 2名・磯子小 2名・港南台ひの特別支援学校 1

<2023年度 主な行事> *大きな行事や行政との連携を中心に記載

- | | |
|----|--------------------------|
| 4月 | 4日（火）K2春のスタートデイ |
| | 5日（水）磯子区館長連絡会 出席 |
| | 13日（木）戸塚高校定時制ガイダンス（事業説明） |
| | 22日（土）SAKAESTA（さかえすた）訪問 |
| | 26日（水）とつか区民活動センター 訪問 |
| 5月 | 1日（月）横浜市自殺対策計画策定検討会 出席 |
| | 2日（火）富岡東地域ケアプラザ 訪問 |
| | 5日（木）横浜氷取沢高校 訪問 |
| | 9日（火）根岸中学校 訪問 |
| | 11日（木）汐見台中学校 訪問 |
| | 17日（水）金沢中学校 訪問 |
| | 24日（水）金沢高校 訪問 |
| | 24日（水）金沢総合高校 訪問 |
| | 30日（火）富岡東地域ケアプラザ 訪問 |
| | 27日（土）ぽによ+夏休み説明会 |
| | 31日（水）第一回子ども支援協議会 出席 |
| 6月 | 3日（土）ファーム じゃがいも掘りイベント |
| | 7日（水）磯子区館長連絡会 出席 |

- 8日(木) 磯子区民児協三役会 出席
9日(金) 金沢高校 訪問
14日(水) 金沢区中学校校長会 出席
14日(水) 磯子区民児協定例会 出席
15日(木) 洋光台第二中学校 訪問
19日(月) 青葉区民児協 セミナー講師
19日(月) 磯子区自立支援協議会本部連絡会 出席
22日(木) 第1回南部地域若者支援連絡会開催
20日(火) 磯子区NPO連絡会 出席
30日(金) 戸塚区生活支援課セーフティネット会議 出席
7月 7日(金) 横浜市自殺対策計画策定検討会 出席
10日(月) 磯子区ボランティア連絡会 出席
13日(木) カナカツ思春期セミナー開催
14日(金) 児童相談所相談調整係合同研修会 出席
19日(水) 横浜美術館 訪問
20日(木) 横浜市電保存館 訪問
20日(木) はっちネット定例会 出席
8月 2日(水) 磯子区館長連絡会 出席
7日(月) 磯子区セーフティネット会議 出席
10日(木) 横浜市自殺対策計画策定検討会 出席
22日(火) 第1回磯子区スイッチONいそご推進会議 出席
23日(水) R5年第1回子どもの貧困対策に関する計画推進会議 出席
24日(木) 戸塚定時学校運営協議会 出席
26日(水) 八景島シーパラダイス 遠足
9月 5日(火) 磯子区NPO連絡会 出席
11日(月) 栄区生活支援課セーフティネット会議 出席
12日(火) 金沢区生活支援課セーフティネット会議 出席
12日(火) 磯子区民児協連絡会 出席
16日(土) カナカツ・イソカツ合同企画「職業人セミナー」開催
22日(金) 磯子区自立支援協議会精神連絡会 出席
21日(木) 磯子区はっちネット広報部会 出席
24日(日) いそごまつり参加
25日(月) 磯子区ケアプラ所長会議 出席
28日(木) 第2回南部地域若者支援連絡会開催
10月 4日(水) 磯子区館長連絡会 出席
4日(水) 戸塚区セミナー開催
11日(水) 磯子区自立支援協議会 出席
19日(木) 栄区セミナー開催
21日(土) 金沢区民まつりいきいきフェスタ参加
24日(火) 横浜市自殺対策計画策定検討会 出席
11月 7日(火)～11日(土) 第8回カナカツ美術展開催
9日(木) 金沢区セミナー開催
12日(日) 青少年指導員主催 いそごこどもまつり参加
15日(水) 磯子区セミナー開催
16日(木) 磯子区はっちネット定例会 出席
24日(金) 磯子区自立支援協議会・精神連絡会 出席
25日(土) イソカツ思春期セミナー開催
25日(土) ぽにょ+入会説明会
30日(木) 港南区セミナー開催

- 12月 1日(金) 磯子区NPO連絡会 出席
 6日(水) 磯子区館長連絡会 出席
 7日(木) 金沢区セーフティネット会議 出席
 13日(水) 根岸中学校 訪問
 17日(日) クリスマスフェスタ
 18日(月) 戸塚区セーフティネット会議 出席
 19日(火) 神奈川県子ども・若者支援連携会議(横浜・川崎地域ブロック) 出席

2024年

- 1月 16日(火) 栄区セーフティネット会議 出席
 22日(月) 磯子区セーフティネット会議 出席
 23日(火) ~27日(土) 第6回イソカツ美術展開催
- 2月 6日(火) 第2回磯子区スイッチONいそご推進会議 出席
 7日(水) 磯子区館長連絡会 出席
 15日(木) 横浜市立大学 訪問
 16日(金) 自立支援協議会 精神連絡会 出席
 17日(土) いそご多文化共生ラウンジ 訪問
 19日(月) ボランティア連絡会 出席
 21日(水) 戸塚定時学校運営協議会 出席
- 3月 1日(金) ぽによ+修了式「きらきらぽによパーティー」
 6日(水) たきがしら会館 訪問
 8日(土) ぽによ+保護者会、新入生歓迎会
 7日(木) 第3回南部地域若者支援連絡会開催
 25日(月) 戸塚高校定時制 訪問
 13日(水) 第二回子どもの貧困対策に関する計画推進会議 出席
 19日(火) 磯子区NPO連絡会 出席

<2023年度 助成実績>

- *横浜市地域ユースプラザ事業(よこはま南部ユースプラザ)
- *横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 金沢区青少年の地域活動拠点(カナカツ)
- *横浜市青少年の地域活動拠点づくり事業 磯子区青少年の地域活動拠点(イソカツ)
- *横浜市親と子のつどいの広場事業(子育てスポットくすくす)
- *子どもの居場所づくり推進委託事業
- *磯子区ふれあい助成金
- *清水育英会 × 中央共同募金会助成金
- *ひきこもり等支援団体支援事業協力金
- *ドコモ市民活動助成事業助成金
- *神奈川県子ども食堂助成事業
- *オリックス財団「子ども食堂応援プロジェクト」助成金
- *一般財団法人若者自立就労支援協会助成金